

1 題材名「相手の気持ちを正しく受け止め、自分の気持ちを伝えよう」

2 題材について

本題材は特別支援学校中学部学習指導要領 第7章自立活動 第2内容の中〈3 人間関係の形成〉の学習である。特に本時は「他者の意図や感情の理解に関すること」に重点を置いた指導を行う。

本学級の生徒5名は、集団での人間関係の形成や他者とコミュニケーションを取ることにに対して課題がある。特別支援学級では、少人数の固定された友達関係であることから、現在は互いにトラブルなく接することができている。しかし、交流学級では、相手の言葉の意図を自身の勝手な解釈で受け取ってしまう様子が見られる。特別支援学級での生活を、交流学級で十分に活かしているとは言い難い状況である。

本時の学習では、日常生活で起きてしまう、自分と他者の気持ちや感じ方の違いによるトラブルに対して、「なぜそのようなことが起きてしまうのか」「何に気を付ければトラブルを回避できるのか」について理解を深め、生活の中で実践できるようにロールプレイングを行う。活動の中で生徒が自分で判断し、決定する機会を作り、それが上手くいく体験をすることで生徒が自信をもてる活動にしたい。また、上手くいかなかった場合のコミュニケーションの難しさにも触れ、自分が感じたことが必ずしも正しいわけではなく、人によって気持ちの表し方や感じ方が異なることを経験として気付かせたい。また、本校課題研究との関連では、共感的な態度を意識して活動し、温かい雰囲気の中で生徒が安心感をもって学ぶことができる時間となるようにしていく。

3 生徒の実態と個別目標

| 氏名 | 題材における生徒の実態 | 題材における目標 |
|----|--|--|
| A | ・特別支援学級の同級生や後輩との交流が中心で、考え方が非常に幼く、面倒なことや嫌なことから逃げる傾向にある。相手が何を自分に伝えたいのか正しく理解することが難しい。 | ・相手の気持ちを正しく受け止めることができ、自分の言動が、相手に対して失礼にならないか考えることができる。 |
| B | ・相手の言っていることを理解することができるが自分の気持ちを相手に伝えることを苦手としている。また、声が小さく自信をもてない様子が見られる。 | ・相手の言っていることを正しく理解できていることに気付き、自分の気持ちを自信をもって伝えることができる。 |
| C | ・自分の感情をうまくコントロールできないことがある。特に一度嫌だと思った相手にはマイナスの感情を持ち続ける。自分のことを棚に上げて、相手を責める傾向にある。 | ・マイナスの感情をもっている相手だとしても、冷静に相手の気持ちを受け止め、自分の気持ちも伝えることができる。 |
| D | ・特別支援学級の生徒と限られた教師との会話が中心で、交流学級では他の生徒に積極的に関わることを苦手としている様子が見られる。 | ・相手の気持ちを正しく受け止めることができている点を自信につなげ、自分から交流学級の生徒とも関わるができる。 |
| E | ・家から出ることがなく、家族以外との交流がほとんどない状況である。 | ・他者の考えに触れ、自分とは異なる感じ方や考え方があることを理解できる。 |

4 指導と評価の計画（3時間扱い）

| 月 | 学習内容・活動 | | 評価 | | | | |
|----------|---------|-----------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|--|---|--|
| | | | A | B | C | D | E |
| 6 | 1 | 自分の気持ちを伝えよう。 | 自分の気持ちを素直に伝えることができる。 | 相手に聞こえる声で、自分の気持ちを伝えることができる。 | 安定した気持ちで、相手に自分の気持ちを伝えることができる。 | 交流学級の生徒にも自分の気持ちを伝えることができる。 | 家族以外の相手にも自分の気持ちを伝えることができる。 |
| 10 本時 | 1 | 相手の気持ちを正しく受け止めよう。 | 相手の気持ちを正しく受け止められていなかったことを理解できる。 | 相手の言っていることを正しく理解できていることに気付くことができる。 | マイナスの感情をもっている相手の気持ちを、冷静に受け止めることができる。 | 相手の気持ちを正しく受け止めることができていることに気付き自信がもてる。 | 自分とは異なる感じ方や考え方をあることを理解できる。 |
| 12 | 1 | 相手の気持ちを正しく受け止め、自分の気持ちを伝えよう。 | 相手の気持ちを正しく受け止め、素直に自分の気持ちを伝えることができる。 | 相手に聞こえる声で、自分の気持ちを伝えることができる。 | マイナスの感情をもっている相手でも、冷静に安定した気持ちでやり取りができる。 | 相手の気持ちを正しく受け止め、交流学級の生徒にも自分の気持ちを伝えることができる。 | 自分とは異なる考え方をあることを理解し、家族以外にも気持ちを伝えることができる。 |

5 本時の指導

(1) 目標

ア 全体目標

・相手の気持ちを正しく理解することができる。 (思考・判断・表現)

イ 個別目標

A ・ロールプレイングを通じて、今まで相手の気持ちを正しく受け止められていないことがあったことを理解できる。 【3-(2)】

B ・相手の言っていることを、正しく理解できていたことに気付くことができる。 【3-(2)】【3-(3)】

C ・マイナスの感情をもっている相手だとしても、冷静に相手の気持ちを受け止めることができる。 【2-(1)】【3-(2)】

D ・今までを振り返り、相手の気持ちを正しく受け止めることができていることに気付き、自信をもつことができる。 【3-(2)】【3-(3)】

E ・他の生徒の意見を聞き、自分とは異なる感じ方や考え方があることを理解できる。 【3-(1)】【3-(2)】

(2) 準備・資料 ・生徒用ワークシート ・人物カード ・気持ちカード

(3) 展開

生徒指導の実践上の4つの視点

| 学習内容・活動 | 教師の指導・支援と評価 (※評価) | | | | | |
|---|--|---|---|--|--|--|
| | 全体 | A | B | C | D | E |
| 1 本時のめあてを確認する。 相手はどのような気持ちなのか理解しよう。 | ・課題を確認することで、見通しをもって学習に取り組めるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> 活動のための約束事として、人を批判しないこと、自分を傷つけないことを最初に全体で確認し、生徒が自分の考えや気持ちを安心して言える雰囲気づくりを行う。 【安心・安全】 自分の意見を発表した生徒に対しては、生徒とともに教師も共感することで、安心できる雰囲気をつくる。 【安心・安全】 | | | | |
| 2 実体験をもとに、相手の気持ちを読み取れずすれ違った場面がなかったか考えワークシートに記入する。 | ・各自、これまでの生活で、相手の気持ちを読み取ることができず、すれ違った経験がないかを考え、本時のめあてにつなげられるようにする。 | ・実体験が出てこない場合、学校生活であった場면을具体的に助言する。 | ・実体験が出てこない場合は学校生活以外でなかったかを考えてみるよう助言する。 | ・他者の考え方を批判せず人それぞれの考え方があることを助言する。 | ・質問を単純化することで、自分の意見がより答えやすくなるよう支援する。 | ・自分のペースで学習を進めることで、より状況を考えられるよう支援する。 |
| 3 相手とすれ違ってしまった理由を考えワークシートに記入する。 | ・すれ違った経験をもとに、その理由を考えられるようにする。 ・理由が分からない場合は、気持ちカードのどれに近いかを考えさせる。 | ・理由が考えられない場合は、一つ一つ一緒に丁寧に振り返るようにする。 【安心・安全】 | ・気分がのらざりに、理由を記入できない場合も考えられるが、できる範囲で参加するように促す。 【安心・安全】 | ・理由を考えることができたときには称賛し、自己肯定感が高まるような声掛けをする。 【自己存在感】 | ・理由がわからず落ち込み始めた場合は、理由を考えることに意義があると前向きに捉えられるように励ます。 【安心・安全】 | ・理由がわからず、本人が困ってしまうことが考えられるので、教師と一緒に級友の意見を聞いてみるように声掛けをする。 【安心・安全】 |
| 4 そのときどういう言動をとるのが良かったのかを考える。 ・ロールプレイをする。 ・演じてみて、自分の考えをまとめる。 | ・実際に自分がその立場になった場面をロールプレイングを通じて考え、どういう言動をとるのが良かったのかを考えるようにする。 | ※<評価> A 今まで相手の気持ちを正しく受け止められていなかったことを理解する。 B 相手の言っていることを、正しく理解できていたことに気付く。 C マイナスの感情をもっている相手だとしても、冷静に相手の気持ちを正しく受け止めている。 D 今までを振り返り、相手の気持ちを正しく受け止めることができていることに気付く。 E 他の生徒の意見を聞き、自分とは異なる感じ方や考え方があることを理解する。 (観察、発言) | | | | |
| 5 本時のまとめをする。 | ・生徒の言葉を使ってまとめをする。 | | | | | |
| 6 本時の振り返りを行う。 | ・相手はどのような気持ちであったかを振り返る。 | | | | | |